

お母さんと子どもたちをもっと元気に
ケニアで2つめの支援事業を推進しています

日本からアフリカへ、ママがつなげる元気のバトン
～ママの“ストーリー”を次のママへ～



“Mother to Mother”は、
社会の持続的な繁栄の基盤となる“子ども”の健康を願い、
お母さんと子どもたちを応援します。

サブサハラ・アフリカ地域では、今でもなお、5歳未満児死亡率は出生1,000件中78件、妊産婦死亡率は出生10万人当たり533人*に上り、SDGsにおいて掲げる目標(それぞれ25件以下、70人未満**)との間にはまだ大きな隔たりがあります。持続可能な社会の実現に向けて、お母さんと子どもたちの健康を応援するプロジェクトです。

*unicef THE STATE OF WORLD'S CHILDREN 2019 Children, food and nutrition
**持続可能な開発目標(SDGs)指標仮訳(総務省)



ビジョン

お母さんと子どもたちの健康管理を 自立的かつ持続的に行えるコミュニティの実現

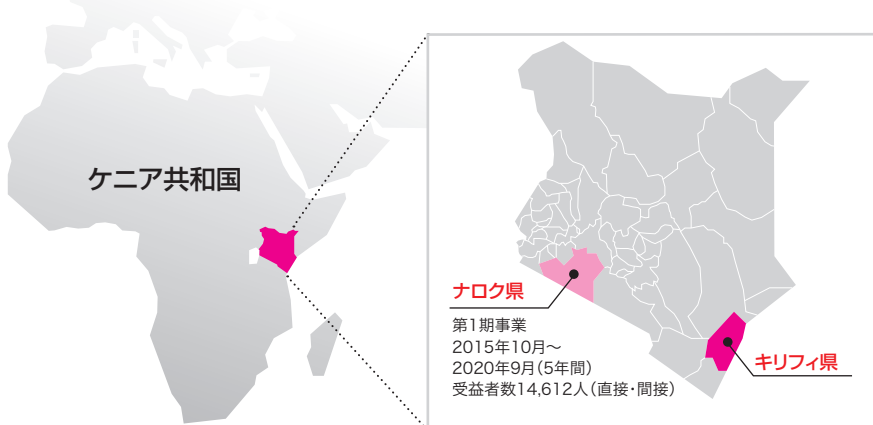
塩野義製薬は、人々の健康を守ることを基本方針に掲げています。
“Mother to Mother SHIONOGI Project”は、塩野義製薬、シオノギグループ
の社員からの寄附をもとに、2015年から国際NGOワールド・ビジョンと
ともに、ケニアの母子健康改善に向けた取り組みを行っています。

ママの“ストーリー”を次のママへ

第一期事業を通じてナロク県のお母さんは、子どもを産み育てることについて様々な経験をし、学びを得て
きました。第二期事業では、その学び（ストーリー）をキリフィ県のお母さんへ届けます。

第二期
事業

より持続的な保健サービスの「質」向上をめざして



事業地 ケニア共和国 キリフィ県
ガンゼ準県 バンバ地域・ジャリブニ地域

受益者数 77,500人(直接・間接)

事業期間 2020年4月～2023年3月

事業実施 国際NGOワールド・ビジョン

World Vision
この子を救う。未来を救う。

活動内容

▶ 母子保健サービスの強化

- 保健施設、サービスの整備
- 保健人材とコミュニティへの教育・啓発
- 診療所と準県病院との連携体制構築

▶ 栄養・水衛生環境の改善

- 水供給設備の改善
- 栄養・衛生に関するコミュニティへの教育

▶ 保健システムの強化

- 政策決定者に働きかけるアドボカシー
- モニタリング・評価

整備する3つの保健施設

■ミドイナ診療所



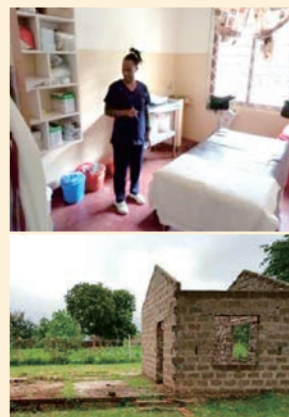
医療スタッフは看護師1名のみ。調剤はサポートスタッフが実施。
出産件数は6-10件/月。外来診療は600件/月。

■リマ・ラ・ペラ診療所



医療スタッフは看護師1名のみ。調剤はサポートスタッフが実施。

■ジャリブニ診療所



コミュニティによって2014年に建設
が始まった陣痛室。建設は中断中。